

# 植物観察会 第62回

## 奈良東大寺の巨樹観察と大仏拝観

150929 日本野鳥の会大阪支部  
平(ひら)軍二 090-6901-1425

日本野鳥の会大阪支部主催で平が担当する「植物観察会」は、**2003年にスタート**しましたが、今回初めて、鳥と植物以外のジャンル、大仏拝観を組み合わせた観察会としました。初めてなのでどうなるかわかりませんが、良ければ今も後企画したいと思います。と言いつつ、大仏については説明できそうにありませんが。

- 巨樹** I-1 巨樹・巨木とは(日本・大阪府の巨樹ランク)  
I-2 東大寺の巨樹観察
- 大仏殿** II-1 東大寺及び大仏殿の歴史  
II-2 大仏殿拝観

### I-1 巨樹

**巨樹とは 幹周り3m以上の樹**  
3m以上は**巨木**、10m以上を**巨樹**と分けて使われることもある。

#### ①日本の巨樹

環境省第4回自然環境保全基礎調査(1989年)

この調査で、日本で**5万本以上**の巨樹が確認されました。この時点で幹周り15位までの巨樹は下記の通りです。

良く知られている**縄文杉**は12位になっています。

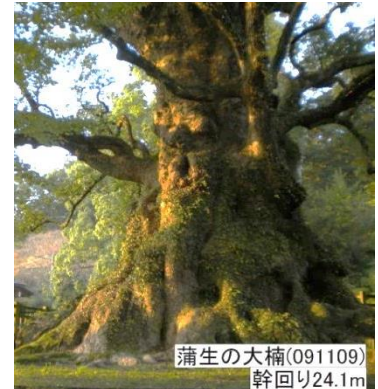
その後、フォローアップ調査結果が2000年に行われている。

順位	名称	幹周(m)	樹種	所在地	保護指定
1	蒲生の大クス	24.22m	クスノキ	鹿児島県蒲生町	国天(特別)
2	阿豆佐和氣神社の大クス	23.90m	クスノキ	静岡県熱海市	国天
3	本庄の大クス	21.00m	クスノキ	福岡県築城町	国天
3	川古の大クス	21.00m	クスノキ	佐賀県武雄市	国天
3	奥十曾のエドヒガン	21.00m	エドヒガン	鹿児島県大口市	保安林
6	衣掛の森	20.00m	クスノキ	福岡県宇美町	国天
6	武雄の大クス	20.00m	クスノキ	佐賀県武雄市	市天
8	柞原八幡宮の大クス	18.50m	クスノキ	大分県大分市	国天
9	隠家の森	18.00m	クスノキ	福岡県朝倉町	国天
10	志布志の大クス	17.10m	クスノキ	鹿児島県志布志町	国天
10	大谷のクス	17.10m	クスノキ	高知県須崎市	国天
12	縄文杉	16.10m	スギ	鹿児島県上屋久町	国天(特別)
13	老イチョウ	16.00m	イチョウ	青森県百石町	町天
13	川辺の大クス	16.00m	クスノキ	鹿児島県川辺町	県天
15	三川の将軍スギ	15.95m	スギ	新潟県三川町	国天

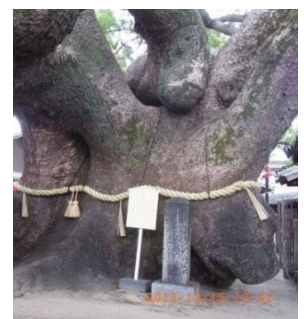
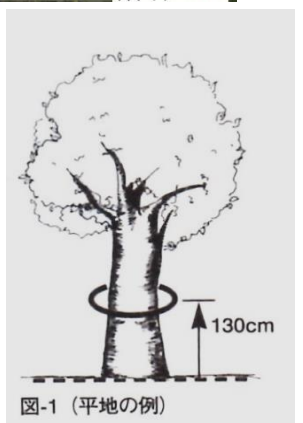
#### 植物の楽しみ方

1. 植物(木や草)の名前を知る  
(花、葉、幹、実、幼苗・ロゼット)
2. 森・林・草原など生態系全体を見る  
(植物だけでなく、鳥・昆虫なども)
3. 花鳥風月・景観を楽しむ  
(花見・紅葉狩りなど)
4. 巨樹・巨木・古木を楽しむ  
(木の太さや、木の歴史)

私が、**巨樹・巨木**に興味をもったのは、1997年吹田市大木調査がきっかけです。平成元年の調査で吹田市に幹周り3m以上の巨樹**5本**でした。そこで幹周りを2m以上にランクダウンし、大木と称して調査した。吹田市全域をまわり1997年吹田市全域で**420本**、10年後2007年には**928本**を確認した。



幹周り  
測定法 →



薫蓋楠(131215門真市)

#### ②大阪府の巨樹

1989年調査の大阪府の巨樹5本です。**薫蓋樟**は2000年フォローアップ調査で13.40mに修正されています。フクロウやアオバズクで、バードウォッチャーにおなじみの**野間の大ケヤキ**は大阪府第2位の巨樹です。

順位	名称	幹 囲	樹 種	所在地
1	薫蓋樟	12.50m	クスノキ	門真市三ツ島
2	野間の大ケヤキ	11.95m	ケヤキ	豊能郡能勢町野間
3	神田天満宮	10.50m	クスノキ	寝屋川市神田(見るも無残)
4	住吉大社の千年楠	9.8m	クスノキ	大阪市住吉区住吉町
5	松尾寺の楠	9.3m	クスノキ	和泉市松尾寺町

# I - 2 東大寺の巨樹


下見では「巨樹に親しむ会」の巨樹選定基準がわかりませんでした。  
 スギが入っていないのは、春日大社で見て欲しいということかもしれません。

## 奈良公園の巨樹 2. 東大寺周辺

(東大寺周辺コースの案内)  
 大仏殿交差点から南大門を通り、大仏殿中門を  
 左へ回り大仏池へ、正倉院前～大湯屋～二月堂へ、  
 ここより下り東塔跡～公園館～新公会堂へ回るコ  
 ースです。

樹木名	幹周 (m)	樹高 (m)
201 アカメヤナギ	2.9	14
202 シタレヤナギ	2.1	6
203 アラクシ	3.6	16
204 イヌマキ	2.6	12
205 ナナミノキ	2.8	13
206 イヌシデ	2.3	17
207 イチヨウ	3.1	26
208 ナカメヤナギ	2.3	15
209 アカメヤナギ	4.4	15
210 ムクロジ	3.9	28
211 ナギ	3.0	9
212 タラヨウ	1.6	7
213 カヤ	3.8	15
214 オガタマノキ	2.4	18
215 モミ	3.7	26
216 センダン	4.1	20
217 ムクロジ	5.0	28
218 コナラ	3.8	17
219 アカマツ	2.4	18
220 フジ	2.7	13
221 カラスザンショウ	1.4	15
222 ムクロジ	3.7	19

**208 ナナミノキ**  
 モミ・オガタマノキ  
 正倉院入口の東  
 側、半堂の角に  
 あり樹形が美しく、  
 よく目立つ。雄株。



**207 イチヨウ**  
 イチヨウ科イチョウ属  
 正倉院前、大湯屋と  
 池の間に大きく成長し  
 した姿。頂部もほつき  
 とつやが、よく見え  
 る。雌株。



**216 センダン**  
 東塔跡から東へ80m  
 行くところ、本立石の巨木が  
 ある(公園トイレの北  
 30m)。5月中旬には薄  
 紫色の花をたくさんつけ  
 る。草地に植えられ、邪  
 気を払うといわれた。



**215 モミ**  
 マツ科モミ属  
 東塔跡の南すぐにあ  
 る。6m位の所で20  
 に分かれ、モミ本来の  
 自然な姿でしげりも良  
 い。死者を弔う樹など  
 に使った。



**217 ムクロジ**  
 ニレ科ムクロジ属  
 手向山八幡宮前口  
 手向山を西に少し入  
 りたところにある。樹  
 形が広がっている。葉  
 がザザラシラしている  
 ので木工磨きに使った。  
 樹皮はうろこ状になり  
 剥けて剥けおちる。



**218 コナラ**  
 フナ科コナラ属  
 奈良公園館の北東の斜  
 面を上ったところで大き  
 く枝を四方に伸ばしてい  
 る。葉つきが厚く樹勢盛  
 んで、周囲のアセビの木々  
 を圧倒している。  
 秋にはたくざんのドング  
 リをつける。



**203 アラクシ**  
 フナ科コナラ属  
 東大寺の手前を右へ折  
 れ、石段前を通りつす  
 ぐにある。樹皮は太ま  
 く凹凸し、老木の感が  
 する。周囲ではカシと  
 いえばアラカシを指し  
 葉の上半分に銀歯があ  
 る。




**201 アカメヤナギ**  
 ヤナギ科ヤナギ属  
 東大寺参道を南や  
 大門方面へ、みや  
 げ店を過ぎ、橋を  
 渡った左下にある。  
 地上3mの所で3本  
 に分岐し、主幹に  
 空洞がある。ノキ  
 シノブ付着。雌株。  
 奈良市指定保存木。



(奈良市・巨樹に親しむ会編 2008年)